



安心ほっと便り

京丹波町の「安全・安心まちづくり」を支援している
関西大学社会安全学部の取り組みを随時お伝えします



関西大学
社会安全学部

Series 11

こころ、ひとつに

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。このページを執筆中(2020年4月13日現在)も、世界中から苦難・苦境ばかりが伝えられて、胸をいため、息苦しさ押しつぶされそうになっている人も多いと思います。

実際に、医療・福祉・教育・政治経済などさまざまな分野で、これまでにない危機に立ち向かっていらっしゃるかたが大勢います。関係者のみなさまの献身にまずは思いをはせて、感謝と敬意の気持ちをお伝えたいと思います。

そうしたなかで、「こころのなかのコロナに負けないで」というメッセージも増えてきました。わたしたちは「最も助けを求めている人(the most vulnerable)」のことを考える余裕がなくなると、すぐに不安・恐怖・憎悪・差別・排除、ネガティブな感情にこころが感染して、立ち行かなかなくなってしまいます。

こころにワクチンを打つとするならば、そのひとつの方法は、わたしたちのつながり確かめることだと思います。

京丹波町と関西大学社会安全学部は一昨年度、包括連携協定を結びました。交流させていただいている多くの学生たちが、京丹波町のことを遠くから「想って」います。いまは「社会的な距離」(social distancing/physical distancing)を保つ必要がありますが、心理的な距離を縮めて、おたがいに励まし合って、この難局を乗り越えましょう。

笑顔で再会できる日を楽しみにしています。

関西大学 近藤誠司



2020年4月12日に、近藤研究室のメンバーで「京丹波町に向けたビデオメッセージ」を制作しました。
京丹波ケーブルテレビで上映させていただきました。